

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月11日

事業ID:2023003846

事業名: 香川県丸亀市における「子ども第三の居場所」(B)常設ケアモデルの運営
(最終年度)

団体名:(公財)丸亀市福祉事業団

代表者名:理事長 植村 利克 印

TEL:0877-23-1091

事業完了日:2024年3月31日

■契約時

事業費総額	:	18,830,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	18,830,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	13,437,774 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	774 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	13,437,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	5,393,000 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 香川県丸亀市における「子ども第三の居場所」(B)常設ケアモデルの運営 (1)期間:2023年4月~2024年3月(週5日、14時から21時まで開所) (2)場所:香川県丸亀市 (3)対象:20名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年中心) (4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。
--

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 香川県丸亀市における「子ども第三の居場所」(B)の常設ケアモデルの運営 (1)期間:2023年4月~2024年3月(週5日、14時から21時まで開所) (2)場所:香川県丸亀市 (3)対象:課題を抱えた小学校低学年を中心に15名 (4)内容:「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援した。 少しずつですが、生活習慣は自発的に、学習意欲についても着実に向上しています。
--



(3)成功したこととその要因

事業を実施し成功したこと、その理由を記載してください。
生活習慣形成や学ぶ意欲向上については自主性を尊重、比較しないで褒める等、コミュニケーションをとり続け、両方とも着実に向上している。

(4)失敗したこととその要因

契約時に予定したとおりに事業を実施できなかった場合は、実施できなかった理由を記載してください。
学校等関係者には認知度もアップしているが、保護者や児童は校区外での交流について躊躇している。
利用条件を外れる等、期間中退所があり平均利用数に影響している。

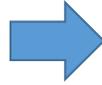
(5)事業内容詳細

上記「(2)事業完了時の事業内容(実績)」の詳細について、ご記載ください。別途報告書を作成されている場合は、それを添付いただければ省略可能です。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

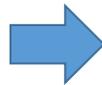
(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

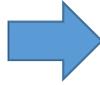
(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の目標欄の内容を転記してください。

1. 2024年3月31日までに一日平均利用児童を20人にする
2. 児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な供給
3. ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築
4. 子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に5回実施する

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	546	文字数チェック	OK
<p>事業完了後の目標達成状況を700文字以内で明記してください。 ※目標を複数設定している場合は、各目標ごとの達成状況を個別に記入してください。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 一日平均利用児童は9人です。2. 児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な供給については達成しています。3. ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築については民生委員、コミュニティーセンター、児童相談所、丸亀市子育て支援課・教育委員会、小学校との関係構築は達成しています。4. 子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に5回実施するについては下記のとおり。 下記に無い月は誕生会、ハイキング等を実施して毎月イベントを実施しています。 ①体験学習(広島平和記念公園とおたふくソース工場)8月1日 ②丸亀市出前講座「食事のバランスとおやつについて」7月21日・8月21日 ③体操教室8月25日・12月22日 ④収穫体験(いも堀り)10月26日 ⑤ハロウィンパーティー10月27日 ⑥クリスマス会12月15日 ⑦地域交流とクリスマスミニコンサート12月25日 ⑧遠足(レオマワールド)12月26日 ⑨遠足(がっこうのいちご園)3月25日			

3.事業実施によって得られた成果

事業完了後、事業成果が実現するまでにある程度の時間を要する場合、実現すると見込まれる事業成果は「****年**月頃に*****が*****になっていると見込まれる」のかを記載して下さい。
複数年計画がある場合、複数年計画の「****年**月頃に*****が*****になっていることを目指す」のかを、最終目標(中長期目標)として記載して下さい。
施設や機器整備した場合、整備した数年後に見込まれる成果(例えば2年後、3年後)を設定し、「****年**月頃に*****が*****になっていると見込まれる」かを、中長期目標として記載して下さい。
2024年7月末には利用児童が15名になっていると見込まれる。
2024年9月末には利用児童が18名になっていると見込まれる。
2025年3月末には利用児童が20名になっていると見込まれる。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

今年度、4か所の小学校から利用者が来ています。
利用者がいない小学校から利用相談が少ない。
4か所の学校とはコミュニケーションが増えて、認知度もアップしてきました。
更に利用者が増えるように、利用者がいない学校とも関りを深めて利用促進に繋げていきます。

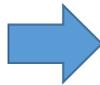
5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

助成契約書記載の成果物名称を転記して下さい。
子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントの写真

(2)事業完了時の成果物名称

実際に作成した成果物の名称を記載して下さい。
※チラシ、ポスター等の印刷物については作成枚数を追記いただけますようお願いいたします。
事業報告



(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載して下さい。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

上記で登録したURLをご記載下さい。

①体験学習(広島平和記念公園とおたふくソース工場)8月1日



②丸亀市出前講座「食事のバランスとおやつについて」8月21日

③体操教室8月25日



④収穫体験(いも掘り)10月26日

⑤ハロウィンパーティー10月27日



⑥クリスマス会12月15日

⑦地域交流とクリスマスミニコンサート12月25日



⑧遠足(レオマワールド)12月26日



⑨遠足(がっこうのいちご園)3月25日

